



2026 11/20 **金** 10:00 — 2027 3/31 **水** 15:00

the 3rd Area of “C” — 3つめのミュージアム — ご案内

展覧会はこちら▶

本展はパソコンやスマートフォンなどからオンライン上でご覧いただけます。 <https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/>





嘉永6年(1853)6月、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリー率いる軍艦が浦賀に来航し、以来、日本は開国が攘夷かで大きく揺れ動きました。当時、国内は続く凶作・災害で疲弊していましたが、14代将軍徳川家茂は公武一和のため、文久3年(1863)3月に229年ぶりとなる上洛を敢行します。

この往路では東海道が利用され、宿駅および周辺地域は準備と対応に追われました。家茂の上洛は錦絵や絵巻に多数描かれていますが、その裏では大量の人馬が必要とされ、川崎では過重な負担に奔走する姿が記録に残されています。川崎宿および周辺村々がいかにして幕府の要望に応え、乗り越えたのか、その苦勞をご覧ください。

《表面》

馬面 徳川家茂所用／久能山東照宮博物館
幕末将軍上洛図鑑(部分)／江戸東京博物館
筒袖陣羽織 徳川家茂遺品 背面／東京国立博物館

《裏面》

A. 五雲亭貞秀 東海道六郷渡風景／国立国会図書館デジタルコレクション
B. 川村清雄 徳川家茂肖像(部分)／公益財団法人 徳川記念財団
C. 二代歌川広重 東海道 大師河原／川崎市市民ミュージアム
D. 綾地萌黄毘沙門亀甲紋直垂／東京国立博物館
E. 川崎宿往還絵図(部分)／川崎市市民ミュージアム



講座①「江戸時代の出版統制と御上洛関係錦絵」

日時 2027年2月20日(土)14時～15時30分

講師 山本 野理子氏 (川崎浮世絵ギャラリー学芸員)

講座②「幕末の将軍上洛～人々はそこに何を見たのか～」

日時 2027年3月6日(土)14時～15時30分

講師 久住 真也氏 (大東文化大学文学部歴史文化学科教授)

定員 各回40名(※申込多数の場合は抽選) 申込期間 2027年1月8日(金)～2月1日(月)

申込方法 川崎市市民ミュージアムWebサイトまたは往復はがきにてお申込みください。

会場 東海道かわさき宿交流館4階 集会室

詳細はこちら

